

令和2年度 一般会計 予算内示 事業別概要書 (当初)

款	2. 総務費	大事業	13. ミレニアムセンター佐倉施設整備事業
項	1. 総務管理費	中事業	
目	12. 防災対策費	担当所属	ミレニアムセンター佐倉

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額			5年間計画額	0
臨時	単独	通常	0	0	0	実施計画		平成28年度	0
								平成29年度	0
								平成30年度	0
								平成31年度	0
								令和2年度	0

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額		
本年度当初査定額		6,952

財源内訳	一般財源
本年度当初要求額	0
本年度当初査定額	6,952

<事業に関する説明>

<p>(事業の概要) ミレニアムセンター佐倉の施設としての最低限の機能を維持するための点検及び施設修繕を行います。</p> <p>【非常用発電設備関係】①制御・始動用蓄電池交換、②排気消音器交換、③12か年整備、【直流電源盤バッテリー更新工事】、【空調設備関係】①1階エントランス系統、②2階喫茶コーナー系統、③3階閲覧ホール系統、④3階廊下、4階ラウンジ系統、⑤3階会議室1,2系統</p>	<p>(事業の目的) 開館から約20年が経過したミレニアムセンター佐倉では、設備の老朽化に伴い、空調設備の故障など施設としての基本的な機能に関する不具合が発生しています。</p> <p>それらを修繕することで、施設利用者に対する安全性や快適なサービスの提供に寄与します。</p> <p>なお、本施設は帰宅困難者の一時滞在施設、夏期における涼み処に指定されています。</p>	<p>(事業の効果) 引き続き利用者が安心、快適に施設を要することができ、市民サービスの向上に繋がります。</p> <p>【稼働日数】335日(H30), 333日(H29), 【貸出率】67.0%(H30), 70.2%(H29), 【利用者数】78,046人(H30), 86,233人(H29)</p>
<p>(事業実施上の問題点) 空調設備については年々不具合箇所が増加傾向にあり、設備更新をすべき時期を過ぎていますが、予防修繕が認められないため、実施計画に基づき、不具合箇所の一部の修繕となっています。そのため、修繕後も新たな不具合箇所の発生や修理部品の調達が困難になるなどの問題点が想定されます。</p>	<p>(前年度からの見直し点)</p>	<p>(見積についての特記事項) 免震装置定期点検や電気設備修繕については、施設の安全にかかわる必須のものです。</p>

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額
14	6,952	0	6,952

特定財源	款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
								差引一般財源	0	6,952	0